

「千葉県文化芸術推進基本計画」（令和 4 年度～6 年度）について
 令和 4 年度の主な取組（県・市町村）

I 「千葉県文化芸術推進基本計画」全体の指標

目指す姿	あらゆる人々が文化芸術に親しみ、交流することで創り育む心豊かな県民生活と活力ある地域社会
------	--

指標	現状（令和 3 年度）	目標（令和 6 年度）
この 1 年間に文化芸術を鑑賞した県民の割合 （オンラインでの鑑賞を含む）※	71.8%	75.0%
この 1 年間に、鑑賞を除く文化芸術活動をしたことがある県民の割合 （オンラインでの活動を含む） （「文化芸術活動」とは、創作や出演、習い事、祭りや体験活動、趣味を同じくするグループでの活動への参加を含む）	-	50.0%

※県政世論調査の結果による。

II 「施策の柱」ごとの実施計画

1 あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、障害の有無や年齢等に関わらず、誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

指標	現状（令和 3 年度）	目標（令和 6 年度）
県の主催事業や、県内公立文化会館（自主事業に限る）、美術館・博物館において、文化芸術を鑑賞した人数 （オンラインの視聴者数を含む）	—	増加を目指す（※）
県の主催事業や、県内公立文化会館（自主事業に限る）、美術館・博物館において、文化芸術活動を行った人数 （発表、練習、文化芸術関連の講座への参加等） （オンラインの活動を含む）	—	増加を目指す（※）

※令和 4 年度に実施する調査の実績値からの増加を目指す。

県の主な取組

○「千葉・県民芸術祭」

・ 県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。

○「県立文化会館管理運営事業」

・ 各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施する。

○「県立美術館・博物館事業」

・ 各館の特色を生かし、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。

○「特別支援学校巡回コンサート」

・ プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。

○「障害者芸術文化活動普及支援事業」

・ 障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動（美術及び舞台芸術）を支援する「障害者芸術文化活動支援センター（支援センター）」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。

市町村の主な取組

○「市川市芸術祭・文化祭」（市川市）

・ 市内各文化団体の発表の場を設け、広く市民に参加を呼びかけて交流を図ると共に、団体の育成と芸術文化活動の活発化を図るため、各団体との共催により、市内各所を会場として文化行事を実施しており、令和4年度は22団体26行事を開催予定。

○「八千代市市民文化祭」（八千代市）

・ 市民自らが文化を創造できるまちづくりを推進するため、市民の文化活動を奨励・支援し、市民が参画する自主的な文化活動として市民文化祭を実施する。

また、市民が自主的に参画することができるよう、従来の鑑賞することを主とした文化祭から、自らが創造・表現することのできる文化祭を目指す。

○「アートとふれあおう」（木更津市）

・ アート制作体験ワークショップを企画・実施し、多くの老若男女がアートと直接触れあうことができる環境づくりを行い、木更津駅周辺の公共施設等を活用することで駅周辺の活性化に繋げていくとともに、保育スタッフとして地域の学生などに協力してもらい、本市全体に少しずつアートの種をまきながら市民の文化レベルの向上を図る。

2 ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり

～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

指標	現状（令和3年度）	目標（令和6年度）
県、県立文化会館、県立美術館・博物館が主催する文化芸術行事における、伝統文化事業の鑑賞者数 （オンラインでの視聴を含む）	—	増加を目指す（※）
県、県立文化会館、県立美術館・博物館が主催する文化芸術行事における、伝統文化体験事業の参加者数 （オンラインでの体験行事を含む）	—	増加を目指す（※）

※令和4年度に実施する調査の実績値からの増加を目指す。

県の主な取組
<p>○「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。 <p>○「文化財保護審議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財指定のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。 <p>○「出土文化財管理活用事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする。 <p>○「伝統的工芸品産業振興事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、 <ol style="list-style-type: none"> ①独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 ②千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 ③後継者養成事業を実施する市町村に助成 ④国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 ⑤全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 ⑥伝統的工芸品の販売促進事業の実施 <p>○「ちば」の文化芸術発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信する舞台公演を、県民が参加できる形で実施する。
市町村の主な取組
<p>○成田市御案内人市川海老蔵プロジェクト（成田市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎を楽しむための基礎を学べる歌舞伎講座を始め、市川海老蔵歌舞伎衣裳展や、成田市と歌舞伎のご縁を感じてもらうため、歌舞伎スタンプラリーを実施予定。

3 新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり

～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

指標	現状（令和3年度）	目標（令和6年度）
観光・国際交流・福祉等、文化芸術と他分野が連携する事業に取り組んだ市町村の割合 （いずれもオンラインでの取組を含む）	—	増加を目指す（※）

県の主な取組

○千葉県フィルムコミッション運営事業

・映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。

(1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援

(2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化

(3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等

(4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等

○デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ

・本県の姉妹都市であるデュッセルドルフ市の日本奨学生財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。

○「グリーン・ブルーツーリズム in ちば」推進事業

・農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催し、グリーン・ブルーツーリズムを促進する。

○日本遺産魅力発信推進事業

・日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。

市町村の主な取組

○ジャパンポップカルチャーカーニバルイン松戸（松戸市）

・アニソンやコスプレといったポップカルチャーを楽しむためのイベントを通年展開している。市内にある寺院や河川敷などの地域資源を撮影場所として活用し、コスプレイベントを開催。市内の祭り等と同時開催することで、より一層の集客を図り、若い層の交流人口拡大と街のブランディングを図ることを目的とする。

4 次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり
 ～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者が文化芸術に触れる機会を創出する～

指標	現状（令和3年度）	目標（令和6年度）
県及び市町村における、子ども・若者を対象とした文化芸術事業の参加者数 （子ども・若者の人数に限る） （オンラインでの取組を含む）	—	増加を目指す（※）

※令和4年度に実施する調査の実績値からの増加を目指す。

県の主な取組
<p>①「ちば」の文化芸術発信事業<再掲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、0歳から参加できる公演やワークショップ等、子どもたちが参加できる事業の実施や発表できる機会を創出する。 <p>○学校音楽鑑賞教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。 <p>○若者の文化芸術活動育成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者による創造的な文化芸術活動に対し補助を行い、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。 <p>○千葉県少年少女オーケストラ育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（公財）千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。 <p>○高等学校文化連盟補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する等、高校生の文化活動の支援を行う。
市町村の主な取組
<p>○こどもミュージックプロムナード（千葉市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児を対象に幼稚園にアウトリーチしてプロの生演奏を聴いてもらう「こどもミュージックプロムナード」を実施する。 <p>○芸術鑑賞事業（松山バレエ団によるバレエ公演）（いすみ市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一流の芸術団体による公演を、次代を担う子どもたちに鑑賞させることにより、豊かな創造力・想像力、思考力やコミュニケーション力などを養うことを目的とする。 <p>○少年芸術教室（横芝光町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の芸術鑑賞能力の向上及び豊かな情操の涵養に資することを目的とした事業であり、管内の児童を対象に劇団等による公演鑑賞の機会を提供する。 <p>○第18回スプリングコンサート（旭市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭市の文化活動の一端を担う「あさひ少年少女合唱団」が日頃の練習成果を発表し、音楽の輪、人の輪を広げながら、地域の音楽活動の活性化に寄与する。

5 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

指標	現状（令和3年度）	目標（令和6年度）
文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思う県民の割合	—	50.0%

※令和4年度に実施する調査の実績値からの増加を目指す

県の主な取組
<p>新 千葉の海をPRする統一デザインの作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉の海について、統一感のある魅力発信を行うため、海の魅力をPRする新デザイン等の作成とイメージカラーの選定を行う <p>新 千葉の海と水辺の魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 在京メディア等を活用したPRを展開するとともに首都圏をターゲットとした交通広告などにより、海や水辺の魅力について、発信をしていく。 <p>新 GOGO 房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやタブレットを使って「千葉ならではの魅力」に触れられる観光スポットやモデルコースを巡り、一定以上のポイントを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たるデジタルポイントラリーを実施する。 <p>新 新しい千葉の食文化創生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏近郊にある豊かな自然（海と大地）をテーマに、県内各地域の特産品を取り入れた新しい千葉の食文化を目指した料理を消費者へ提供することで地産地消を推進し、農林水産業の振興を図る。 <p>○ 「千葉の海」丸ごと満喫事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。 <p>新 「ちば文化資産」PR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県生誕150周年を記念し、「ちば文化資産」について合計150件となるよう追加選定を行う。 千葉県生誕150周年を記念し、記念切手のデザインを公募し投票等により決定する「ちば文化資産」切手デザインコンテストを実施する。優秀作品をもとに切手を作成するとともに、作品は県立美術館等で展示する。 観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する。 <p>○ 「ちば」の文化芸術発信事業<再掲></p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を、県民が参加できる形で実施する